

2016 春日井市民第九演奏会



指揮
井村 誠貴



ソプラノ
飯田 みち代



アルト
相可 佐代子



テノール
中川 正崇



バス
伊藤 貴之

とき **2016年12月4日(日)**
15時開演(14時30分開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **A席 1,500円 B席 1,000円** (全指定期・税込)

※就学前のお子様の入場はお断り申し上げます。
※当日券は、販売できない場合もありますので、チケットは事前にご購入下さい。

指揮 ■ 井村 誠貴
ソプラノ ■ 飯田 みち代 アルト ■ 相可 佐代子
テノール ■ 中川 正崇 バス ■ 伊藤 貴之
管弦楽 ■ 春日井市交響楽団
合唱 ■ 春日井市民第九合唱団 合唱指導 ■ 松下 伸也
曲目 ■ エルガー作曲「威風堂々」
ベートーヴェン 作曲
交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」

チケット取扱い場所 [10/7(金)より発売]

■文化フォーラム春日井 ■ 東部市民センター
(2F文化情報プラザ)

※車椅子席は、文化フォーラムでのみお取り扱いいたします。

主催/春日井市・春日井市教育委員会
(公財)かすがい市民文化財団

春日井市民第九演奏会実行委員会

共催/春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援/中部大学・中日新聞社

Elysium(楽園)へと導く春日井第九

今年も春日井に熱い冬がやって来る!ベートーヴェンのZauber (不思議な魔力)によって導かれる春日井第九は24回を数え、市民から愛され、Alle Menschen werden Bruder(全ての人は兄弟)になった。そのBruder(兄弟)は共に歩み切磋琢磨を続け、Eines Freundes Freund zu sein(永遠の友、真実の友)を得たのだ。井村×春日井第九も今年で5年目を迎える。節目となる集大成は、Bruder(兄弟)に感謝し、音楽が出来る事をMische seinen Jubel ein!(喜びを共にしたい)と願う。シラーの綴った頌歌は「地上(今)での幸せは与えられ、天(未来)の神の前には門を守る天使ケルプが立っており、神の喜びを感じながらもそう簡単にはたどり着けない」とある。Vor Gott(勇気)が繰り返され、ついにElysium(楽園)へとたどり着くのだ。Laufet, Bruder, eure Bahn,(進め兄弟よ、貴方達の行く道を)Freudig, wie ein Held zum Siegen.(喜びに満ちて、勝利に向かう英雄のように)。今こそ魅せよう!春日井のElysium(楽園)を!

音楽監督・指揮者: 井村 誠貴

PROFILE

指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

1994年大阪音楽大学コンラトバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として研鑽を積み、これまでオペラレパートリーも50項目を超える。2013年には、年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなど、その地位を確立している。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心に芸術賞を全国展開。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、大阪交響楽団等を導く。また、岐阜県立音楽センターの定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに、大阪音楽大学、ナゴヤディレクターズバンド等の音楽家団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラカージュ・オ・フォル」を皮切

りに、「マイフェアレディ」「レミゼラブル」(いずれも東宝)「ベテナーと詐欺師」[The Musical AIDA]「キャバレー」のロングラン公演全国ツアーを成功させ、ライブCD、DVDを発売。また、若崎宏美、夏川りみ、タカヲボ実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでは軽妙なトークも話題となっている。2010年には京都フィル、湖濱の会(フルートオーケストラ)と共に韓国光州国際音楽祭に招待され、世界的フルート楽団「ピエロ」らと共に演奏。クラシックにとらわれない幅広いジャンル、年約200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。現在、オーケストラ指揮者、関西音楽家のちから「集」代表。2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。

ソプラノ 飯田みち代 Michiyo Iida

京都大学教育学部教育心理学専攻卒業。阪神音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞。また、愛知県芸術文化振興会大賞。「ルル」「アイナダマル」「メデア」などの難曲の日本初演を主演し、主演したオペラは芸術祭大賞、ミュージックペンクラブ賞などを受賞した。「歌魂力」が注目を集め、随分在在な発声で多層的な女性像を魅力的に描き出す。驚くべき才能(音楽現代代り)などと絶賛されている。

2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリアにもオーケストラや各種コンサートに出演している。「飯田みち代を歌う」[Michiyo Iida sings Richard Strauss und Alban Berg] (プライデーレコード)「前田佳子歌曲集」などがリリースされている。二期会会員。

アルト 相可佐代子 Sayoko Okka

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。バリエール・ソプラノ・メゾソプラノ・アルト・テナーの4声部をこなし、2001年パリ市立オペラ劇場研修生として渡仏。音楽監督S.グタン氏、発声法をG.マクビー氏と学修し、同劇場において主役の歌唱リサイタル。パリ・オペラ座劇場と並行して定期演奏会を音楽祭にも出演する。2003年エコール・ノルマル音楽院1年コース卒業、ルーセル奨学金を受け、リル・シザンズ氏と研修。同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。2005-2006年シヤトレ劇場オペラアンサンブルメンバー。帰国後も「カルメン」(タイル・リュク)

ソリス島のリアドネ」(作曲家「ウェルテル」「こもり」)など多数のオペラに出演。ベートーヴェン「交響曲第九番」「3番ソナタ」ニムス、マーラー「交響曲第三番」等ソリストも多数。日本各地での演奏活動をはじめ、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学各講師として後進の指導にもあたる。2010年名古屋市民音楽祭受賞、NHK-FM「名曲リサイタル」出演。2012年津市文化奨励賞、2014年名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。

テノール 中川 正崇 Masataka Nakagawa

大阪音楽大学大学院声楽専攻オペラ研究室、新国立劇場オペラ研修所8期研修生を修了。2008年度文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修生としてイタリア・フレンツェ音楽会、[ドンジョヴァンニ]のドン・ジョヴァンニでオペラデビュー。新国立劇場で「アルベルト・ヘリグ」「アルバート・ボロニヤ」のテノール・リサイタル、「オランダの娘」「エルヴィラ」を好演。「愛の妙薬」メモリー。「演歌」アルバム、「橋」アルバム、「龍圖」タミーノなど多数のオペラに出演。大阪国際

フェスティバル「ラッセルの旗」ベルフィオーレ役にて、アルベルト・セッダと共演。クイント役で出演した平成23年度「ねじ」の回想、伊呂波句で出演した平成27年度「鬼狼忠臣蔵」は文化庁文化芸術大賞を、その作役の「黄金の山」は音楽ペンクラブ賞を受賞。コンサートや「第九」、ミサ曲などのソリストも多数務める。第2回「日本のうたコンクール」第一位。西垣俊郎、渡邊弓子の各氏に師事。西宮音楽協会、東京二期会、各会員。

バス 伊藤 貴之 Takayuki Ito

名古屋音楽大学声楽科首席卒業。同大学院首席修了。NPO法人エコー・エンジェルと奨学金を得て2013年-14年イタリアのミラノで研鑽を積み、第48回日本声楽コンクール第2位、第41回イタリア声楽コンクール賞受賞、第6回イタリア・セツァ国際声楽コンクール第2位、第14回イタリア国際声楽コンクール入賞。在学中、愛知国際文化振興事業団主催公演「橋」にて、グラウンデル医師役でオペラデビュー。これまでオペラ「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「演歌」[「ランメル・モールのリゴレット」「ワーランドト」]など多数のオペラに出演。藤原歌劇団では、「仮面舞踏会」でデビュー後、「ラ・ボ

エーム」「ファルスタッフ」「ランスの旗」などに出演。近年では、新国立劇場「サロメ」(指揮/ダン・エッティンガー)兵士役や、日生劇場「セヴィリアの理髮師」(指揮/岡田謙一)「演出/塚本洋二)に出演した。また、ベートーヴェン「第九」「狂歌ミサ曲」「ミサ曲」「威風堂々」(指揮/マイケル)、ヴェルディ「オレレ」「レクイエム」、ロシニエ「小莊嚴ミサ曲」などのソリストとしても活躍している。2015年セジ オオサカ音楽フェスティバル「第九」ソリストに抜擢され、長野市、松本市の他に、京都市東区にて小澤正徳指揮の下、同ソリストを務める。平成24年度愛知県芸術文化振興文化新人賞受賞。藤原歌劇団正団員。

管弦楽 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた。市民が演奏し、市民が聴く春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)11月に創立され、市内の音楽愛好者を中心に活動しています。団員は、会員・公務員・教員・自営業者・主婦・学生など様々な職業を中心とした約50名で、毎年7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。「春日井市交響楽」をとりわけ、日々、音楽に向かい練習を重ねています。井村誠貴先

生に第九の指揮をお願いして、今年で5年目。団員一同、井村先生の情熱溢れる指揮のもと、ひとつひとつの音に魂を込めて演奏させました。本日ご来場の様子に音楽を感じ喜びを感じていただければ、私たちにとっても嬉しきことではありません。今後も、春日井市交響楽にあたたかいご支援をお願い致します。

(団長: 稲垣 徹)

合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために一般市民より編成された合唱団です。平成5年、春日井市市立50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市民初演の機に結成され、今年で24回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名にならうかつい大会合唱団です。平均年齢は60歳を超えてや高いのですが、中部大学混声合唱団の皆さんの若い方々の応援をいただき、元気に第九を歌って参ります。7月に市長の出席を仰いで総団式を行い、毎週土曜日、松下山崎先生の優く

丁寧な、また、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦役しておりますが、第九のテーマである「人類みな兄弟」という喜びを我々自身も感じながら、演奏会において下さる皆様方から、少しでもその精神を感じていただこうと精一杯努めます。今年の曲目は、エドワード・グレン作曲の「威風堂々」を演奏致します。どうぞご期待下さい。

(団長: 須藤 寿夫)

※都合により出演者が変更になる場合があります。